

西国巡礼慈悲の道

西国第十二番 岩間山

正法寺

そうもくこくどしつかいじょうぶつ
草木国土悉皆成仏

山主 仲田順和

めまぐるしい社会の中で生活している私たち、ともすれば生活の余裕を失い、干からびた心になりがちです。自然より遠ざかり、動物植物に心をよせることを忘れ、いつの間にか人間としての生き方を見失ってしま

まいそんな今日この頃、いきとし生けるもの、命あるすべてに心をよせ、いのちには眼に見える「いのち」、眼に見えない「いのち」があります人の心の美しさを

感じ、おおらかな明るい心を養うことにつとめたいものです。

ここにいう「草木国土、悉皆成仏」は、「一仏成道、観見法界、草木国土、悉皆成仏」の一頌四句の偈文のあとの二句です。

ものへの心のよせかたを示して「一木一草、一匹の虫、一適の水などすべて目に見える生命があるなしにかかわらず、皆仏さまとして敬うことのできる性質を

内に秘めているということに目覚めなさい」と呼びかけています。ものになれると、それはごくあたりまえのこととなり、驚きも、感激もなくなり、不感症とでもいう状態になり、感謝にあふれる喜びなどなくなります。「便利」なことはものの尊さを見失います。

「消費が美德」であろうはずがありません。まだ使用できるものを捨てることは、「もつたいたい」という罪の意識があつてしかるべきです。

「もしこの紙がなかったら」「もしこの水がなかったら」ものに心をよせる第一歩です。そして、相手の側に立つて紙になりきってみよう、水になりきってみよう。

このとき忘れかけていたことを思い出すことができるはずです。

すべてのものは、それぞれの立場で自分の役目をはたし、ルールを守っています。そのバランスを、人為的にくずさないようにしたいものです。



西国第十二番

岩間山

しょうほうじ
正法寺

通称・岩間寺

真言宗醍醐派

御本尊／千手観世音菩薩 開基／泰澄大師

みなかみは いづくなるらん いわまでら

きしうつなみは まつかぜのおと



観音風光

「私のいのち」
父と母で二つの「いのち」、
父と母の両親で四つの「いのち」、
その両親で八つの「いのち」、
たどっていくと10代で1024の「いのち」、
それが20代になると百万の「いのち」。無量の「いのち」の積み重ね、今、私の番がきて生きている。いのちは無量の時間の積み重ねです。命とは、自分に与えられた時間です。この時間を一生懸命に生きることこそ、私の「いのち」です。

主な年中行事

- 一月一日～三日 修正会 ◎福茶接待
- 一月十七日 初観音法会
- 節分 節分会
- 二月十七日 ご縁日法要・不動護摩供
- 三月十七日 開山泰澄大師忌・ご縁日法要・不動護摩供
- 四月十七日 雷除け法会・柴燈護摩供
- 五月十七日 ほけ封じ祈願会・ほうろく灸・柴燈護摩供、火渡り火生三昧
- 六月十七日 ご縁日法要・不動護摩供
- 七月十七日 ご縁日法要・不動護摩供
- 八月十七日 精霊供養・施餓鬼会・不動護摩供
- 九月十七日 千日会法要・柴燈護摩供
- 十月十七日 ほけ封じ祈願会・ほうろく灸・柴燈護摩供、火渡り火生三昧
- 十一月十七日 万體観音供養会・柴燈護摩供
- 十二月十七日 終い観音法会 ほけ封じ健康長寿大根炊き
- 十二月三十一日 除夜の鐘
- 毎月十七日 写経会開催

〒520-0869 滋賀県大津市石山内畑町82

TEL 077-534-2412

納経時間 午前9時～午後4時30分

仏教用語一口解説

諸行無常とは

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」『平家物語』の語り出しの有名な一句です。人生のはかなさ、生命のもろさ、そしてときには死を意味する言葉として、日本人になじみの深い語句。「諸行無常」とは、この世のものはたえまなく変化し続けているという事実を教える仏教の真理の一つなのです。万物は流転しています。だからこそ、今を努力するのであり、一刻一刻が貴重なのであります。限りある生命を大切に生きることが重要なのです。